

特集

新人と熟達者が学び合う プリセプターシップ

東京女子医科大学附属3病院の研究に基づく実践

東京女子医科大学附属3病院では、2017年から、熟達者の実践と新人看護師の豊かな感性から学び合う新たなプリセプターシップを導入しました。これは、正統的周辺参加理論を背景に、新人看護師が熟達者とともに、学びの実感や看護の喜びを分かち合うことを目的とする教育体制です。看護部の担当者と看護学部の教員によるプロジェクトとして取り組みました。本特集では、このプリセプターシップの全体像をご紹介しますとともに、教育システムを再構築するまでのプロジェクトマネジメント、研究に基づく新たなプリセプターシップのアウトカムをご紹介します。

導入までの経緯・全体像 ●三好麻実子

プリセプターシップの実践

- ①新人看護師 ●日高滯香／安田妙子
- ②熟達者（プリセプター兼臨床的コーチ） ●中元宏美／若林留美
- ③看護師長 ●高 綾子／山内典子
- ④3者の学び合いについて ●若林留美
- ⑤教育担当者 ●河合麻衣子／大井香奈美

実践の成果をエビデンスにする研究 ●池田真理／若林留美

座談会 ●白石和子／三好麻実子／大井香奈美／池田真理

全体の振り返り ●佐藤紀子

巻頭シリーズ

【石垣靖子氏対話シリーズ】

看護と倫理 尊厳を護るケアの担い手として ●石垣靖子／勝原裕美子

編集後記

▶今月号では東京大学の武村雪絵先生に特集およびNAレポートでお世話になりました。▶特集では、東京都ナースプラザ就業協力員の高島様、大橋様へのインタビューで、武村先生、國江先生に聞き手をお務めいただきました。弊誌でもこれまでコーチングやメンタリングに関する企画を掲載させていただきましたが、新人看護師や中間管理者のみならず、常に意思決定を迫られるトップマネジャーにとっても（むしろ上位職になればなるほど）、コーチやメンターの存在は重要ではないかと思えます。そうした観点から、病院で看護管理経験のある就業協力員の方が、トップマネジャーの質改善の取り組みに情熱を持って伴走して下さる東京都のアウトリーチ型支援は、全国に広まってほしい枠組みです。▶NAレポートでご紹介した「新型コロナウイルス感染症対応から学ぶ看護マネジメント10か条」は、これまでの振り返りと今後の備えにぜひご活用ください。（小齋）

▶今月号の特集では「中小規模病院看護管理者へのアウトリーチ型支援」を取り上げました。200床以下の病院の看護管理者に対し、経験豊富な就業協力員が定期的に訪問したり、組織の課題に沿った研修企画などのサポートを行う取り組みです。詳細はぜひ特集をお読みいただきたいですが、実際に取り組みに参加した看護管理者へのインタビューでも、外部の伴走者がいることの安心感や重要性について語られていました。組織の核となる看護管理者たちと何度もディスカッションを行い、自組織のあり方や、めざす姿を共有することの大切さが強調されており、目の前の課題を解決するだけでなく、取り組み期間以降の組織の成長を見据えた支援だと感じました。▶第25回日本看護管理学会学術集会の開催日が近づいてきました。皆さまの経験や知が共有され、持続可能な社会につながる貴重な交流の機会になることを期待しております。（石塚）

看護管理 第31巻第8号

2021年8月10日発行（毎月1回10日発行）

発行 株式会社医学書院

代表者：金原俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2021, Printed in Japan

印刷・製本 アイワード

定価 1760円（本体1600円＋税10%）